

932号

2022年5月17日 郵政産業労働者ユニオン 呉支部発行



←中国地本HPへ PC・スマホ等からこの情報が閲覧可！



メールはこちら→

2022年3月期の経営成績 (億円)

Table with 5 columns: 日本郵政グループ, 日本郵便, ゆうちょ銀行, かんぽ生命. Rows include 経常収益, 前年同期比, 経常利益, 前年同期比, 当期純利益, 前年同期比.

2022年3月期 通期業績予想(2022年2月公表)

Table with 5 columns: 日本郵政グループ, 日本郵便, ゆうちょ銀行, かんぽ生命. Rows include 経常利益, 達成率, 当期純利益, 達成率.

利益増でも還元なし

決算の概要

2022年3月期の決算が発表された。業績予想の達成率が各社100%を超え、全社が黒字の好決算でも、社員に

利益還元は行わない。

郵便・物流事業

営業利益は、1,022億円で、前期比214億円の減益。ゆうパックが9、4%、ゆうパケットが15、4%

郵便局窓口事業

営業利益は、前期比13億円の減益。245億円の営業費用の減少で、黒字。

国際物流事業

営業利益は前期比68億円の減。1,482億円の減益。

日本郵便

営業利益は前期比68億円の減。1,482億円の減益。

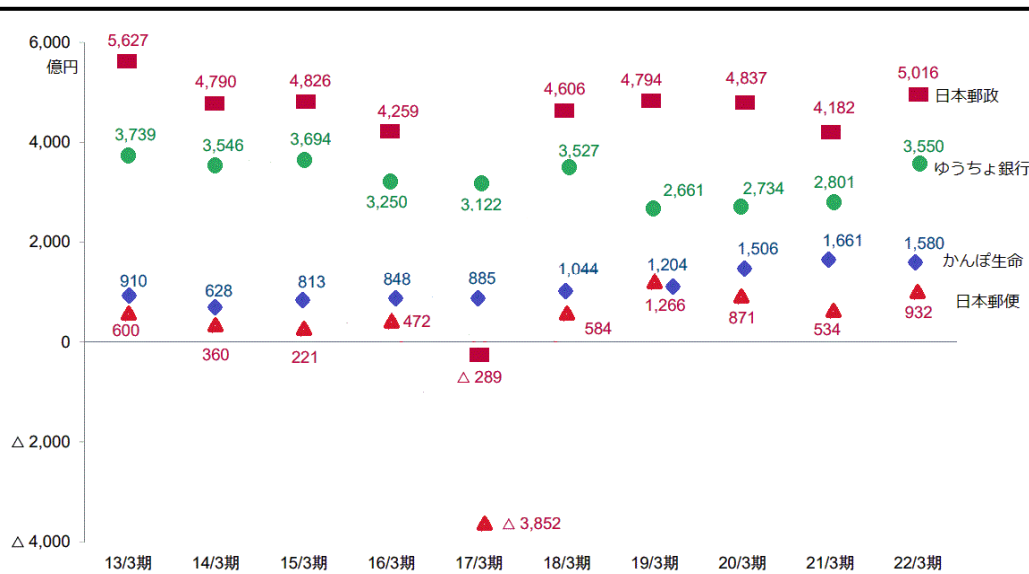
ゆうちょ銀行

連結業務純益は、前期比749億円の増。3,039億円の増。

かんぽ生命

基礎利益は前期比151億円の増。4,371億円の増。

当期純利益は80億円の減。1,580億円の減。



【郵政G各社の純損益の推移】

会社の利益は増加

左図は10年間の当期純損益の推移を示す。17年度は、日本郵便が、3,852億円の赤字となったが、10年間合計すれば、約2千億円の黒字である。

ゆうちょ銀行やかんぽ生命は、10年間赤字になる事もなく、利益を積み増している。会社は7年連続ペースを実施しているが、7年

前の一人当たりの執行役員報酬は約1,900万円。3年前は一人当たり、約2,950万円。会社の見通しが厳しいとして、社員には還元しない一方、執行役の報酬は大幅アップしており、説明に矛盾がある。

報酬アップを非難している訳ではない。社員に利益を還元した上で自分達の報酬アップならまだ理解できる。因みに、前年の執行役員報酬は約2,350万円。7年前と比較して23%アップである。6月に行われる第17回定期株主総会で役員報酬が明らかとなるが、社員の頑張りだけでなく、利益を独占するのは上だけという現実が変わりそうにない。

今後の予定

● 6月14日(火) 17:00~ 第8回呉支部執行委員会 支部事務所

次号は 6月14日 予定